



芳川神社節分祭 地域の安寧・発展をお祈りしながら  
街作りをテーマに川越視察へ  
農業に関する視察へ  
1月は多くの新年会へ  
ご意見・ご要望を伺う地域訪問

## ママ loves



吉川市在住の遠藤慶子さん

◆やんちゃな5歳男の子と、好奇心いっぱい2歳女の子のママ、慶子さん。結婚後、ご主人が育った吉川に住み始めたころは「すいぶん田舎だな」と感じていたけれど、春の桜、緑が素晴らしい夏の田園風景、秋のイチョウ並木と、季節ごとに楽しめる美しい自然を持つ吉川が今は大好きと、破顔一笑。

◆「子供は育つ環境によっていろんな能力を伸ばせると思う。吉川市内には小さいスペースの公園がたくさんあって、小さな子供達を安心して遊ばせることもできるし、季節折々の美しい景色の中を家族で散歩しながら、自然からたくさんのお話を学ぶことができるね」と子供達をみつめる慶子さんの目には、自然に触れながら、子供達の心が豊かに育ってほしいというママの願いが溢れていた。

◆「ただ…子供から大人まで一緒に楽しめるような総合公園があればもっといいのに」と。なぜなら、慶子さんのご主人は野球好き！現役野球チームで頑張るお父さん！家族や仲間達と公園に行って思い切りトレーニングをしたくても、小さな子供がたくさんいる小さいスペースの公園では、危険もあって思う存分その思いが達せられないという。

◆「野球のトレーニングのためだけではなくて、子供から高齢者まで一緒に、いろんな形で一日中楽しめるシンボリックな総合公園があればいいな、そうすればもっともっと子育てしやすい街になるの」と話す慶子さんの言葉には、吉川のよりよい未来への期待と、希望が詰まっていた。



## タイムスリップ吉川

◆昭和58年の駅前いちよう通りの風景。今では商業地、住宅地として栄えている吉川駅前ですが、当時は一面に水田が広がり、農業用水がたくさんあって、いなご、どじょう、雑魚がたくさんとれる自然溢れるエリアでした。写真は1才半のころの長女。休日はよく一緒にのんびりと散歩しました。

◆いちよう通りの整備とともに住宅も増え、昭和48年には吉川駅が開業しました。待ちに待った駅開業により、町内は盛り上がったものです。

◆私は昭和25年に生まれたときから吉川市に住んでいます、今のようには栄えるとは想像もしていませんでした。これからも吉川市内の商業が盛り上がり、将来にわたって元気な町であることを願っています。



石原俊夫さん 62才 奥様、一男二女の5人家族



◆埼玉県議会議長中継◆  
◎埼玉県のホームページにて当日の一般質問の様子が、ご覧いただけます。  
\*動画を視聴:12月→12/10月一般質問→「中原恵人」

## 2013年

今年も年明けから、この街に多くの新たな生命が誕生した。

力の限りの大きな泣き声で「ここにいます」と主張する、その小さな命達を目の当たりにすれば、

「今が良ければいい」と未来から目をそらす事も、「何をやっても変わらない」と今を悔き求める事も出来ずしない。

私達は、「未来への美しいパトン」を、「希望に満ちたパトン」を、

次の世代に手渡す為に、今を生きているのだ。

「共に未来を」  
そう、それが私達の合言葉。

埼玉県議会議員  
中原恵人



## 皆さん、こんにちは！お元気ですか！！

◆ 昨年の埼玉県議会12月定例会では、吉川市代表として「一般質問」に登壇しました！一般質問とは、知事や県幹部に対して、県の今後の取り組みについて意見・提案を述べる演説のようなもので、持ち時間は30分となっています。その後、知事をはじめ担当部長がそれぞれ答弁という形で質問に答えます。

◆ 一問一答形式ではないので、当日は若干せしモノ一勇気ですが、そこまで各担当部署とかなりの意見交換が必要であり、それが様々な問題の改革への一歩となります。

◆ もちろん、一般質問の機会が無くとも、「教育」「環境」「インフラ整備」等、日々担当部署とやりとりをする中で、一步一步問題解決に向け進んでいます、公式の文書として残るという点では、一般質問も大きな意味を持ちます。

◆ 今回の一般質問では、これまで僕がNPOで活動してきた「教育問題」をはじめ、議員となってからの1年半余の政治活動の中で、皆さんと共に考え行動してきた「環境」「高齢者」「福祉」「農業」「文化」「スポーツ」などの問題に対する意見・提案を訴えました。

◆ 「一般質問」は、皆さんの思いや考えを、代表して述べる場です。次ページに「一般質問要旨」を記しましたが、当日の時間の関係上、取り上げることの出来なかったテーマも多々あります。

◆ 今後も皆さんと共に活動する中で、さらに幅広く、深く個々の問題に取り組み、「希望に満ちた未来へのパトン」を作りあげていきたいと思っています。



## 吉川ビジョン政経塾 スタートしました！

●日本・世界を舞台に様々な分野で活躍しているリーダーや政治家、専門家を講師に迎える「吉川ビジョン政経塾」。

●地方自治のあり方から商工農、教育、街作りなど実践的なテーマを取り上げ、さらに議員インターンシップとの連動により、明日の吉川市を担う若い人材を育てます！

●今後のテーマは「地方政治のあり方」、「自治体財政と寄付」、「エネルギーの地産地消」など。大学生、高校生の参加も募集しています！！

- ◇顧問&講師◇
- 佐藤大吾 氏 国際NGO「世界連邦運動協会」常務理事
  - 木戸寛孝 氏 白土幸仁 氏 埼玉県議会議員
  - 長谷川岳 氏 参議院議員
  - 高橋歩 氏 自由人・作家

## 中原恵人/県政報告リーフレット

### 吉川ミーティング

発行 中原恵人事務局  
〒342-0041 埼玉県吉川市保462-1  
TEL&FAX: 048-983-7886  
mail: office@nakahara-shigeto.com  
発行部数 30000部 発行日 2013年春

随時、更新中！  
中原恵人公式HPからぜひ！！  
http://www.nakahara-shigeto.com/

那覇へ基地視察に  
吉川市秋季大会 来賓ではなく選手として(笑)  
八坂祭り あはれ神輿 仲町・中野原の皆さんと！  
69フェスティバル 「しげちゃん」とあちゃん「熱演！！」  
拉致問題を考える埼玉県民の集い





◎右記のような「県政報告会」、「陳情・現場視察」、「NEXT吉川」、「会合・イベント」等の活動を通して、皆さんと共に考え、行動してきた様々な問題についての意見・提案を、皆さんを代表し、知事に訴えました！

### (中原恵人の一般質問の要旨)

## 1. 吉川美南高校

◆いよいよ今年4月から、吉川高校が「吉川美南高校」として生まれ変わります。◆総合学科という形で大学進学も、就職率UPも目指す中で、新1年生が卒業するまでの最初の3年間の「取り組み」、そしてその「結果」が今後の学校のあり方にとって重要となります。◆学・就労の強化に加え、野球部の復活、演劇部の地域での活躍など新たに活動の幅を広げ、地域に必要とされ、愛される学校となつていく為の提案をしました。



公募で選んだ吉川美南高校の校章

## 2. キャリア教育

◆高校中退、大学中退、ニート、フリーター…今、若者の無業・不安定就労は増加の一途であり、生活保護費の増加も含め、これは社会の根幹にかかわる大きな問題です。埼玉県においても前年度高校卒業者の6%にあたる3500人程が無業者・不安定就労状態となっています。◆こうした問題への解決として、来年度から高校において全面的に取り組まれる「キャリア教育」。これは「資格取得」という意味での「キャリア」ではなく、「人間関係形成能力、自己効力感、課題適応能力」を育み、社会に貢献出来る人間を育てるというものであり、現在埼玉県でも4校の県立高校を推進校として「NPOカタリバ」との連携により「キャリア教育」に取り組んでいます。◆日本の未来にとって非常に重要なこの事業、外部民間団体との連携により、今後のさらなる充実化を求めました。



カタリバの授業風景

## 3. ひきこもり問題

◆これまで僕が20年間取り組んできている「不登校・ひきこもり問題」。これは決して「心が弱い若者、癒けもの若者」とのみ捉えるべき問題ではなく、理念や国家観の乏しい教育の在り方、様々な化学物質に取り囲まれた食生活や環境、雇用に見る産業構造や利益至上主義の企業理念の在り方、そして政治のふがいなきなど、現代のこの社会が抱える様々な問題や、歪が若者たちに現れていると捉えるべき問題です。◆埼玉県でもひきこもりの若者は少なく見られ、約4万2千人。そうした若者への支援においてもまず大事なことは、当事者への粘り強い訪問とその為の人材確保です。また、そうした訪問事業の充実に加え、民間支援団体同士を結びつける中間的支援組織の立ち上げが急務と訴えました。



## 4. 障害者問題

① 特別支援学級担任の増員について  
障害者も健常者も社会の中で共に暮らしていけるようにという考えが「アーマライゼーション」というものです。その最初の舞台は、小・中学校の特別支援学級です。しかし、この学級において教員の数が足りないという現状があり、障害のある子供達への支援が十分ではない現場もあります。そこで教員の配置に関して柔軟な配慮を求めました。



② 特別支援学校の生徒達の就職について  
障害のある生徒達もそれぞれが自分にあった職業を見つけ、自活し、社会に貢献してゆくという充実感を得られる、そんな社会こそが真の共生です。しかし、現在特別支援学校での実習・就労先企業の開始は教員個人の熱意にゆだねられており、それにも限界があります。そこで、就労関係の専門機関を中心となり、障害のある生徒達のための企業開拓を進めてゆくことを求めました。



三郷特別支援学校文化祭「三郷杯」

## 県政報告会

県政報告会ではスライド等を使い、県政の現状や、僕の日々の活動などをお伝えしています。また同時に、皆さまからのご意見やご要望を、直に受け取ることができる、貴重な場でもあります。



## 日々、吉川市民の代表として！



NEXT吉川で様々なテーマの勉強会や、地域のババママ子供達が仲良くするイベント等を行い、「みんなの力を合わせて吉川の未来を創ろう」と活動中です。



次世代のために美しい未来を

## 陳情・現場視察

通学路、街作り、教育、環境など、様々なご意見・ご要望をいただく中、常に現場への視察を行っています。



## 8. 水と川の再生

◆埼玉県は県土の中で河川の占める割合が3.9%と日本一です。ここ吉川市も西に中川、東に江戸川、そして中央に大場川と、まさに「川の郷」です。◆川を私たちの共有資産と捉え、川が持つ文化的・社会的価値を再考し、その再生を目指すとき、川は私たちの生活に安らぎを与えるのみならず、地域再生の大きな柱となります。◆そこで、①合併処理浄化槽に課せられている定期検査の実施率の向上、②木売落悪水路の浄化、③子供達への環境教育の充実について、さらに力を入れてゆくよう県に求めました。



さくら通りを美しい川にするために！

## 9. スポーツ〜日本一長いサイクリングロード

◆2011年6月、利根川〜江戸川の土手を走る日本一長いサイクリングロードが完成しました。その距離70キロ（そのうち埼玉県エリアは90キロ）。群馬県の渋川から東京ディズニーランドまで抜くことが出来ます。◆また、埼玉県は自転車保有率（76.9%）、出荷台数（平成20年）共に全国1位であり、この特色を活かし、自転車利用における交通安全の確保、地域の活性化、環境負荷の軽減、さらには健康増進を目指す「ぐるっと埼玉サイクリングネットワーク構想」を推進しています。◆こうした中、サイクリングロードを市民にとってさらに有益なものとするために、ベンチやそれぞれの地域の案内板などを設置し、休息・交流・情報スペースとすることを提案しました。



サイクリングイベントを開催！！

## 10. 吉川市の農業

◆埼玉県はその豊かな土壌、そして首都圏という有利な立地条件を生かし、多様な農産物が生産されており、野菜では「ねぎ」、「こまつな」などが全国1位。花では「ゆり」「パンジー」が全国1位、米も全国17位の産出額です。◆我が吉川も豊かな川、水に恵まれ、良質米の産地ですが、そうした水田地域を未来につなぐためには、区画整理、道路・水路整備などの基盤整備を進め、規模拡大、収益力の向上を図ること、そして、新規就農者を含めた農業の担い手育成を進め、生産性の高い農業を展開・持続させることが重要で、◆そこで、①吉川東部地区における圃場整備、②新規農業従事者の拡大、について県の今後の取り組みを促しました。



## 会合・イベント

様々な会合・イベントの中で、多くの皆さんとお話しをさせていただきながら、ご意見・ご要望をいただいています。



## 6. 高齢者問題

① 地域包括支援センターの充実について  
今後、埼玉県は全国一のスピードで高齢化が進み、2030年には約3人に1人が高齢者となる予測です。そうした中、高齢者を総合的に支える拠点である「地域包括支援センター」はまだまだその機能に限りを感じています。そこで、職員へのスーパーバイス（職員への支援という意味です）や行政のリーダーシップの強化を求めました。

② 市民後見人の養成等について  
2012年8月に発表された認知症高齢者数は280万人。実に高齢者の10人に1人が認知症という現状です。そうした中、今後、高齢者の権利を擁護し、財産を管理し、生活を支える役割を担う「成年後見人」の重要性が高まります。特に家族や弁護士以外の一般市民がそうした役割を担うようになる「市民後見人」の増加は必須です。

③ 認知症サポーターの養成について  
地域として認知症への理解・支援を深めようとして全国で進められている「認知症サポーター」の養成。中原事務所も全員サポーターとなっていますが、現在その数は全国で300万人を超え、埼玉県では約10万7千人となっています。しかし同じような人口構成の愛知県に比べると8万人以上も少ない現状です。今後、その養成を進める中で、ぜひ未来を担う世代、特に高校生に向けての養成講座の開催を求めました。



## 7. 文化〜さいたまゴールド・シアターの活動展開

◆「老いる」ということは決して「マイナスのことばかり」ではありません。演出家・蛭川幸雄氏率いる、平均年齢73歳の高齢者劇団「さいたまゴールド・シアター」は高齢者を「可能性を秘めた創作者」と捉え、様々なチャレンジを展開しています。◆多くの市民が、その「ほとぼし生へのエネルギー」を体感することにより、「高齢化社会のあり方」に新たな視点を加えることが可能になるはずで、◆「ゴールド・シアター」の活動拠点を全県下にすることで、「吉川ゴールド・シアター」の立ち上げや、吉川美南高校演劇部とのコラボレーションなどと夢も広がります。



## 11. 吉川橋・道路

道路や橋などのインフラ整備は、市民生活に直結する重要な事項であり、政治が果たすべき役割のひとつです。①吉川橋はいよいよこの秋に工事開始予定です。建設中に通行止めにならないよう、「仮り橋」の併設等の市民要望を酌んだ仕事を求めています。②「葛飾吉川松伏線バイパス（さくら通り）」の開通後、「一之橋交差点」付近の渋滞がさらにひどくなつていきます。北部へのさらなる延伸についての今後の見直しを県に質しました。



いよいよ工事開始の吉川橋！